

諸般の報告・その他の関係

○委員長 (小池正昭君) 次に、諸般の報告・その他について御質問がありましたら発言を願います。

宇野委員。

○宇野 裕委員 質問をさせていただきたいと思います。大きくは2つであります。

最初の質問は道路整備についてであります。今回の選挙でもテーマの1つになりました地方創生。いろんな手段、アクセスの方法、たくさんあると思いますけど、道路網の整備、社会インフラの整備というのは、地方創生にとっては非常に重要だというふうに私は思っておりますし、そういう観点から質問をさせていただきたいと思います。

圏央道の整備が今着々と進んでおります。沿線地域にはさまざまな効果が波及してるのではないかなというふうに思います。道路ネットワーク整備が地域にもたらす効果、今申し上げたように非常に大きくて、大栄―横芝間の早期の完成を私も隣接地域の議員として切に願っているところであります。

また、そのほかにも、県内の必要な道路ネットワーク整備というのはまだまだ多く残ってるのではないかなと思います。外環道、館山道などの高規格幹線道路はもとよりであります。その効果を広く波及させるための北千葉道路、あるいは銚子連絡道路、長生グリーンラインなどの地域高規格道路などの着実な整備が必要ではないかなというふうに思っております。

ただ、一方で新聞などでは、新設より老朽化対策が優先すべきではないかとか、財務省がインフラ交付金を抑制すべきとの考えを表明などの記事も掲載されているようであります。先ほど永田部長の諸般の報告にもありましたが、ここで改めてお伺いをしたいと思います。ネットワーク整備と老朽化対策、私はどちらかではなくて、両方にバランスをとって重点を置くべきだと考えておりますが、どのようにお考えでしょうか、お尋ねいたします。

○委員長 (小池正昭君) 吉田道路計画課長。

○説明者 (吉田道路計画課長) 道路ストックの高齢化は進み、老朽化が顕在化し始めており、道路の老朽化問題は避けては通れない最重要な喫緊の課題であると認識しております。一方で圏央道、外環道、北千葉道路など、基幹となるネットワーク整備は進行中のございまして、まだまだ不十分な状況でございます。県としては、老朽化対策とネットワー

ク整備はどちらも計画的かつ重点的に取り組む必要があると考えます。こうしたことから、去る11月20日に森田知事が麻生財務大臣に対しまして、道路の老朽化対策とネットワーク整備を推進するために道路予算全体を増額し、必要な予算を確保するよう訴えてきたところでございます。

○委員長（小池正昭君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。大変心強いというか、そういう今の御答弁を聞くと、どちらかに偏るのではなくて、バランスをとって計画的にやっていくんだという執行部の考え、よくわかりました。

一方、私の地元の海匠地域にちょっと視線を転じますと、銚子連絡道については9月議会でも、あるいは一般質問でも、私以外の議員も質問させていただいたわけですが、圏央道の整備効果を海匠・銚子地域に波及させる銚子連絡道というのは非常に重要な道路ではないかなというふうに思っております。現在整備が進められている銚子連絡道の2期区間については、昨年度から横芝光町から匝瑳市までの事業区間の全線にわたり用地買収に取り組むとともに、横芝光インターチェンジ側では一部工事に着手しております。

そこでお伺いをしたいと思います。銚子連絡道路2期区間の進捗状況はどのようになっているのでしょうか、改めてお伺いをしたいと思います。

○委員長（小池正昭君） 神作道路整備課長。

○説明者（神作道路整備課長） 銚子連絡道路2期区間につきましては、横芝光町から匝瑳市に至る延長5キロメートルの道路事業であり、圏央道にアクセスする大変重要な道路でございます。これまでに用地取得や文化財調査などを進めてきておりまして、昨年度から本線部の工事に着手したところです。今年度は基点部の横芝光町宮川地先において盛り土工事を、匝瑳市八日市場地先から横須賀地先において市道交差部のボックス工事などに着手することとしております。今後とも地元関係者の協力を得ながら残る用地の取得に努め、早期完成を目指してまいります。

以上です。

○委員長（小池正昭君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。大変感謝をしております。この道路は非常に時間がかかっていますが、地元の理解というのが非常に重要だというふうに今御答弁にもありましたが、私も地元の議員として、また地元の市長さん、あるいは地域の方々の御協力をいただきながら、地元の理解という点、最大限力を合わせてやっていきたいというふうに思っております。

用地買収の済んだところからどんどん工事は進めていっていただきたい。原則は手前から工事を、西側から東に向けて工事をするというのが原則であります。この道路については時間がかかっているということで、銚子方面からも、八木バイパスもそうありますが、旭方面からも用地買収、あるいは工事を一部進めるということで、同時多発的にいろいろな区間からやっていただくということで、手前からという発想は県のほうとしてはとらないということで進めていただいておりますので、ぜひ用地買収が済んだところから工事に入っていただきたい。そして、用地買収が非常に難しいところについては県、国、地元市町村と協力しながらやっていくというスタンスをこれからもとっていただきたいというふうに要望をいたします。

次に、大きな2問目なんですけども、これも私の地元のことで大変恐縮なんですけども、匝瑳市地域における海岸・河川津波対策についてお伺いをしたいと思います。東日本大震災から3年9カ月が過ぎました。県では、海岸津波対策として被害の著しい旭市の飯岡海岸から海岸堤防のかさ上げを実施していると聞いております。今後、順次かさ上げを実施していくことと聞いておりますが、何となくですが、私の地元の匝瑳市区域においてはスピード感が少ないのではないかなというふうに思っております。国が示す集中復興期間は平成27年度までとされておりまして、沿岸に住む住民からは、津波の記憶が風化する前に安全な堤防をつくっていただきたいという声もあります。こういう災害はいつ来るかわかりませんので、当然財源を見ながら、あるいは期間をとらなければならないとよくわかるんですが、これは一日も早くという思いが住民のほうから出ております。

そこでお伺いをしたいと思います。匝瑳市の区域において、海岸堤防のかさ上げ工事の進捗状況と今後の見通しはどのようになっているのでしょうか、お伺いをいたします。

○委員長（小池正昭君） 木村河川整備課長。

○説明者（木村河川整備課長） お答えいたします。

匝瑳市域における要津波対策区間は約3キロメートルほどございまして、このうち海岸侵食が著しい北九十九里の野手海岸の0.4キロメートル区間について、本年9月に工事を

発注したところでございます。また、残りの区間につきましても、詳細設計や海岸利用者である地元の匠瑳市との調整、協議を今行っておりまして、今後速やかな工事発注に向けて努めてまいります。

以上でございます。

○委員長（小池正昭君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。ぜひよろしく願いをいたします。

次に、二級河川新川という川があるんですが、新川における河川津波対策についてお伺いをしたいと思います。この問題については、9月の常任委員会でも取り上げて恐縮ではありますが、再度確認の意味でお伺いをしたいと思います。現在、河口から新川にかかる橋でありますけども、橋において河川堤防のかさ上げを行ってことは聞いております。9月の答弁では、合流部対策として、軽桶川や野田幹線排水路、通称大利根用水と言われておりますが、その場所において詳細設計を行っているという聞いております。

そこでお伺いをしたいと思います。合流部対策として、軽桶川や野田幹線排水路において詳細設計を行っているとのことではありますが、その後の進捗状況と工事発注の見通しはどのようになっているのでしょうか、お伺いをいたします。

○委員長（小池正昭君） 木村河川整備課長。

○説明者（木村河川整備課長） 合流部であります軽桶川と野田幹線排水路については、現在、詳細設計を行っておりまして、管理者である匠瑳市及び大利根土地改良区と構造や設置後の管理について、今、調整、協議を行っているところでございます。本年度末に成果を取りまとめまして、工事発注については、この詳細設計を十分精査した後に速やかに工事着手できるように努めてまいります。

以上です。

○委員長（小池正昭君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 最後に要望させていただきたいと思っております。木村課長さん、9月も申し

上げたんですけど、地元の所長さんをやっていただいたので地元で詳しいということで、懸案でありましたこの新川というのは、農業関係の河川が今合流しているということで、農林サイドがやるのか、市がやるのか、あるいは県の土木サイドがやるのかということで非常に難しかったわけではありますが、県の英断で、県の土木サイドでやっていこうということで非常に感謝をしております。県内でも、こういう河川、ほかにもあろうかと思いません。そのモデルケースとして津波の遡上対策、これからぜひこの新川のケースをモデルに、ほかにもそういうような河川があれば、ぜひ参考にして取り組んでいただきたいというふうに思います。そして、一日も早く合流部の工事については発注をして完成をしていただきたい。強く要望いたします。私からの質問といたします。ありがとうございました。

#### 閉 会

○委員長（小池正昭君） 以上で県土整備常任委員会を閉会いたします。

午後0時24分閉会